

朝霞市立朝霞第三中学校 3 学年 国語科 シラバス

◆国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

◆評価の観点

<知識・技能>

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしようとしている。(漢字、表現技法、書写、古典、情報を整理する力など)

<思考・判断・表現>

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。(話す・聞く能力、書く能力、読む能力など)

<主体的に学習に取り組む態度>

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとしている。(自らの学習を調整しようとしている態度、粘り強い取組を行おうとしている態度など)

◆主な学習内容

月	単元	教材	月	単元	教材
4		世界はうつくしいと	10	5 自らの考えを	複数の意見を読んで、考えよう——正解が一つに決まらない課題と向き合う考えを効果的に伝えよう
		握手			文法への扉2 「ない」の違いがわからない?
5	1 深まる学びへ	文法への扉1 「走って」いるのは誰?		6 いにしえの心を受け継ぐ	初恋
		説得力のある構成を考えよう			和歌の世界
6	2 視野を広げて	言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	11	7 価値を生み出す	古今和歌集 仮名序
		学んで時に之を習ふ——「論語」から			君待つと——万葉・古今・新古今
7	3 言葉とともに	作られた「物語」を超えて	12	8 未来へ向かって	夏草——「おくのほそ道」から
		論理の展開を意識して書こう			つながる古典
8	4 状況の中で	漢字1 熟語の読み方	1	9	古典名作選
		俳句の可能性			それでも、言葉を
9	5 深まる学びへ	俳句を味わう	2	10	漢字3 漢字のまとめ
		言葉の釣り糸を垂らす			合意形成に向けて話し合おう
10	6 視野を広げて	言葉2 和語・漢語・外来語	1	11	本は世界への扉
		語彙を豊かに			温かいスープ
11	7 言葉とともに	読書を楽しむ	2	12	アラスカとの出会い
		「私の一冊」を探しに行こう			律儀な桜
12	8 状況の中で	挨拶——原爆の写真によせて	1	1	わたしを束ねないで
		故郷			三年間の歩みを振り返ろう
1	9 言葉とともに	言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語	2	2	初日
		聞き上手になろう			
2	10 視野を広げて	漢字2 漢字の造語力			

第3学年 社会科 シラバス

1 各分野では、どんな力をつけようとしているのかな？～社会は社会人になるための学習～

◆社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

○地理的分野では、人間はどんな環境条件の下にどんな社会を築き、現代社会にはどんな社会が見られるのかについて学ぶことを通して、日本の国土や世界を認識すること。また、事象を地域的観点から考えることで空間に関わる思考を持たせるために学習するのです。そして、これらの学習を通して、地域調査など具体的な活動を通して地理的事象（生活環境や気候、地形、土地の風土や文化、風習など）に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的に考察し公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。

○歴史的分野では、「歴」とは過去の出来事をさし「史」はそれを記したものをいい、資料を仲立ちに過去を再構成したものが歴史です。人間は常に過去の事象を学んで、現在のある姿の由来をとらえ、未来への指針を得ているために学習するのです。そして、これらの学習を通して、具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多角的に考察し公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。私たちの暮らす現代社会を形成してくれた多くの「人」を学び、その功績に関心を持つことも良き社会人になるために必要な知識です。

○公民的分野では、義務教育9年にわたる社会認識の教育の成果を総合し完結させることにより、生徒一人一人が自立した社会人として生きることができるようになるための資質の基礎を育成するために学習するのです。そして、これらの学習を通して、社会的事象を確実な資料に基づいて様々な角度から考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断する能力と態度を育てることを目指しています。

2 社会科の観点別評価

◆評価の観点

○知識・技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

○思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

○主体的に学習に取り組む態度

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

◆評価の方法

- ・発表やグループワーク等による授業への参加態度、プリント等への取り組み
- ・自分で工夫した勉強
- ・定期テスト → 問題別に点数を集計

◎ 主体的に学習に取り組む態度の評価について

主体的に学習に取り組む態度には「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」があります。授業態度、提出物、テストの点数等、様々な評価資料を基に、総合的に評価をします。

4 3年生では、どんなことを学習するのかな？

月	分野	章	節	時数
4	歴史的 分野	第5章 開国と近代日本の歩み	4節 日清・日露戦争と近代産業	6
5		第6章 二度の世界大戦と日本	1節 第一次世界大戦と日本	4
			2節 大正デモクラシーの時代	3
			3節 世界恐慌と日本の中国侵略	5
			4節 第二次世界大戦と日本	5
6 7		第7章 現代の日本と世界	1節 戦後日本の発展	2
			2節 冷戦と日本の発展	7
			3節 新たな時代の日本と世界	8
7 9		第1章 現代社会と私たち	1節 現代社会の特色と私たち	6
			2節 私たちの生活と文化	3
	3節 現代社会の見方や考え方		6	
10	第2章 個人の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法	6	
		2節 人権と共生社会	6	
		3節 これからの人権保障	4	
11 12	第3章 現代の民主政治と社会	1節 現代の民主政治	7	
		2節 国の政治の仕組み	10	
		3節 地方自治と私たち	6	
12 1 2	第4章 私たちの暮らしと経済	1節 消費生活と市場経済	6	
		2節 生産と労働	5	
		3節 市場経済の仕組みと金融	6	
		4節 財政と国民の福祉	4	
		5節 これからの経済と社会	4	
2	第5章 地球社会とわたしたち	1節 国際社会の仕組み	6	
		2節 さまざまな国際問題	6	
		3節 これからの地球社会と日本	5	
		終章 持続可能な社会の実現に向けて	4	

教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学に考える資質・能力を次の通り育成することを旨とする。

- ①数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- ②数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

評価方法

「評価規準」に準じて行う。授業参加姿勢、定期テスト、提出物の状況等を総合的に評価する。

評価の観点 (評価の方法)

- ① 知識・技能
(定期テスト・授業の様子)
- ② 思考・判断・表現
(定期テスト・授業の様子)
- ③ 主体的に学習に取り組む態度
(授業参加姿勢・提出物・定期テスト)

学習上の注意・助言

- ・聞くべき時は集中して聞く。
- ・忘れ物をしない。
- ・発表や質問を積極的にする。
- ・疑問に思ったことはそのままにせず質問する。
- ・ノートをしっかりとる。
- ・普段から問題によく取り組み繰り返し練習し定着をはかる。

学習内容 (3 学年)

月	章、節	時数
4	第1章 多項式 1節 多項式の計算 1 多項式と単項式の乗除	2
	2 多項式の乗法	1
	3 乗法公式	5
5	2節 因数分解 1 因数分解	2
	2 公式を利用する因数分解	4
	3節 式の計算の利用 1 式の計算の利用 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	5
6	2章 平方根 1節 平方根 1 平方根	6
	2節 根号をふくむ式の計算 1 根号をふくむ式の乗除	4
	2 根号をふくむ式の加減	2
7	3 根号をふくむ式のいろいろな計算	2
	4 平方根の利用 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	2
	第3章 2次方程式 1節 2次方程式とその解き方 1 2次方程式	2
8	2 平方根の考えを使った解き方	3
	3 2次方程式の解の公式	2
	4 因数分解による解き方	1
9	5 いろいろな2次方程式	2
	2節 2次方程式の利用 1. 2次方程式の利用 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	5
	第4章 関数 $y=ax^2$ 1節 関数 $y=ax^2$ 1 関数 $y=ax^2$	3
10	2 $y=ax^2$ のグラフ	3
	3 関数 $y=ax^2$ の値の変化	5
	4 関数 $y=ax^2$ の利用	3
11	2節 いろいろな関数の利用 1 いろいろな関数 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	3
	第5章 相似な図形 1節 相似な図形 1 相似な図形	4
	2 三角形の相似条件	3
12	3 相似の利用	2
	2節 平行線と比 1 三角形と比	5
	2 平行線と比	3
1	3節 相似な図形の面積と体積 1 相似な図形の相似比と面積比 2 相似な立体の表面積や体積の比 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	6
	第6章 円 1節 円周角の定理 1 円周角の定理 2 円周角の定理の逆	6
	2節 円周角の定理の利用 1 円周角の定理を利用した作図 2 円と相似 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	4
2	第7章 三平方の定理 1節 三平方の定理 1 三平方の定理	2
	2 三平方の定理の逆	2
	2節 三平方の定理の利用 1 三平方の定理の利用	4
3	2 いろいろな問題 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	5
	第8章 標本調査 1節 標本調査 1 標本調査	5
	2 標本調査の方法 3 標本調査の利用 章の問題 ★学力向上プラン 単元確認	5
	1、2、3年の復習 課題	5
	予備時数	17

第3学年 理科 シラバス

・理科の目標

- ① 基礎的・基本的な知識の定着と科学的な思考力や表現力の育成
- ② 観察・実験を通して技能の定着と主体的に調べる能力の育成

・評価の観点

- ① 主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。
- ② 思考・判断・表現
自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察・実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。
- ③ 知識・技能
自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。

・評価について

定期テストでの点数に加えて、授業・実験への参加態度、実験プリント、提出物などの平常の様子を加味して評価を出します。

・頑張っ欲しいこと

- ① 授業では…
挙手や発言をして授業に顔を上げて参加しましょう。居眠りや私語は厳禁です。ノートやプリントの記入をしっかりと進めてください。
- ② 実験や観察では…
積極的に手を出して参加すること。基本は実験班で行いますが、一人で実験をできるようになることが目標です。
- ③ 定期テストでは…
授業ノートやプリントを中心に自分なりにまとめ直すような学習をしてください。また、教科書はもう一度読み直しておきましょう。ワークは複数回利用して、知識の定着を確認しましょう。

	月 (週)	単元	章	時 数
理科 A	4	1. 化学 変化と イオン (27+1)	1章 水溶液とイオン	8
	5		2章 酸、アルカリとイオン	9
	6			
	7		3章 化学変化と電池	10
理科 B	8	2. 生命 の連続 性 (25+1)	1章 生物の成長と生殖	10
	4		2章 遺伝の規則性と遺伝子	9
	5			
	6		3章 生物の多様性と進化	6
理科 A	7	3. 運動 とエネ ルギー (30+1)		
	8		1章 物体の運動	10
	9		2章 力のはたらき方	8
	10		3章 エネルギーと仕事	12
理科 B	11	4. 地球 と宇宙 (25+1)	プロローグ 星空をながめよう	2
	10		1章 地球の運動と天体の動き	10
	11		2章 月と金星の見え方	7
	12		3章 宇宙の広がり	6
理科 B	1	5. 地球 と私た ちの未 来のた めに (28+1)	1章 自然のなかの生物	6
	2		2章 自然環境の調査と環境保 全	6
	3		3章 科学技術と人間	7
	12		地域とつながる 自然災害と地域のかかわりを学 ぶ	3
			終章 持続可能な社会つくるた めに	6

令和8年度 第3学年 英語科シラバス (学習活動計画)

朝霞市立朝霞第三中学校

(1) 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語 による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単 な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 年間学習活動計画

学期	月	学習内容	学習のねらい
1 学期	4	Unit 0 Discover a New Side of Classmates	・クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合うことができる。
	5	Unit 1 What is special about Japanese pop culture? Real Life English 1 ディスカッション	・自分のことを知ってもらったりだれかのことを知るために、これまでの経験について理解したり伝えたりすることができる。 ・ディスカッションを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。
		Unit 2 How do you choose your clothes?	・おたがいのことをよりよく知るために、ある場所に住んでいる期間などについて相手にたずねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ・環境にやさしい取り組みについて理解を深めるために、エシカルファッションについて書かれた文章の概要や要点を捉えることができる。 ・環境にやさしい行動ができるようになるために、エシカルファッションの取り組みについて書かれた文章の要点を捉えることができる。
	6	Real Life English 2 講演	・社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。
	7	Unit 3 How can we save animals? Real Life English 3 グラフや表の活用	・私たちににとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを伝え合ったりすることができる。 ・だれもにしてほしいことを伝えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章を理解したり、伝え合ったりすることができる。 ・世界の絶滅のおそれのある動物の状況について知るために、ラッコについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。 ・これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。
2 学期	8	Let's Read 1 A Mother's Lullaby	・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。
	9	Unit 4 How can we help each other in a disaster?	・防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査の結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりすることができる。 ・防災への意識を高め具体的な行動を取るために、どのような備えをしておくべきかなどについて伝え合うことができる。 ・地域が一丸となって支え合い、災害に備えることの大切さを知るために、テイラーさんとテイラー文庫について書かれた文章の概要と要点を捉えたり、自分の考えや感想を書いたりすることができる。

	10	Real Life English 4 町中での手助け	・相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。
	11	Unit 5 What makes a good leader? Real Life English 5 記事への意見	・どのような人やものかを理解したり伝えたりするために、情報を加えて、人やものについて説明したり、伝え合ったりすることができる。 ・どのような人やものかを理解したり伝えたりするために、情報を加えて、人やものについて説明したり、伝え合ったりすることができる。 ・平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って事実を説明したりすることができる。 ・社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。
	12	Unit 6 What does it mean to be a global citizen?	・世界の子供たちの状況や気持ちを理解するために、現実とは異なる願いについて書かれた文を理解したり、自分の願いを伝えたりすることができる。 ・国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、できたらいいと思うことを伝え合うことができる。 ・国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要や要点を捉えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。
3 学 期	1	Real Life English 6	・ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。
	2	テレビの国際ニュース	
	3	入試対策	

(3) 使用教材

教科書 NEW HORIZON (東京書籍)
問題集 エイゴラボ (リスニング付き) (正進社)

(4) 評価方法

- ・定期テスト (100点満点の結果) 観点は「表現」「理解」「知識」
- ・単語テスト、夏(冬)休み後の文法テスト (確認テスト)、会話テスト、スピーチ、英作文などの結果
- ・ノート、ワークの取り組み状況、提出状況
- ・授業での取り組み (挙手、発言、英語での言語活動)
- ・自己評価カード

以上の評価規準に照らし、総合的に評価・評定を行います。

(5) 生徒のみなさんへアドバイス

- ・授業に集中し、挙手や発言をして、積極的に英語を使うようにしましょう。英語で言えることはなるべく英語で言いましょう。
- ・英語の先生や AET の先生と積極的に英語で会話をし、より多くの英語表現を学びましょう。
- ・予習、復習を必ずし、ノートやワークなどを使って学習事項の整理をし、理解を深めましょう。
英語は毎日こつこつと学習して身につける教科です。試験前だけまとめて勉強しても身につけません。
- ・英語が苦手な人はまず、単語を書いて (+発音して) 覚えることから始めましょう。そして、文章のしくみを覚え、たくさんの例文を覚えるようにするとよいでしょう。

音 楽 3 年

教科の目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
-------	---

評価規準

評価の観点	評価規準	方法
知識及び技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○実技発表 ○発表・プリント等の提出物 ○期末テスト ○学習時の観察
思考力、判断力、表現力等	曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○発表・プリント等の提出物 ○期末テスト ○学習時の観察
学びに向かう力、人間性等	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習時の観察 ○発言・プリント等の提出物

使用教科書・使用教材

<ul style="list-style-type: none"> ○教芸 中学生の音楽 2—3 上・下 ○教芸 中学生の器楽 	<ul style="list-style-type: none"> ○箏、和太鼓、リコーダー、鑑賞資料、鑑賞用CD、DVD、BD、合唱パート別CD
--	---

「教育に関する3つの達成目標」との関連

<p>規律ある態度で授業を受け、音楽に関する表現や発表、鑑賞する態度をしっかりとさえる。「みんなができる、みんなのできる」の実感を持たせる。</p>
--

【第3学年】標準授業時数 35時間

	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト【評価方法】
一 学 期	<p>○歌唱「花」</p> <p>○鑑賞「ブルタバ（モルダウ）」</p> <p>○器楽 リコーダー</p> <p>○合唱コンクール曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫する。 【活動観察、演奏聴取】 ・オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取る。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・曲想を感じ取り、曲想にふさわしい音色やフレーズの表現を目指して表現を工夫する。 ・リコーダーの運指、タンギングや息の使い方の技能を身につける 【活動観察、演奏聴取】 ・仲間と歌い合わせる喜びを感じ、意欲的に合唱表現をする。 ・姿勢、口形、発声などの基本をふまえ練習する。 ・曲にふさわしい表現を工夫し、合唱曲を美しく歌い上げる喜びを知る。 【活動観察、演奏聴取、発言内容、プリント】
二 学 期	<p>○鑑賞「展覧会の絵」</p> <p>○器楽ギター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴を感じ取りながら、音楽を味わう。 【活動観察、発言内容、プリント】 ・ストローク奏法や基本の奏法を身に付ける。 ・基本のコードを覚え演奏する。 【活動観察、演奏聴取】
三 学 期	<p>○卒業式曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現豊かに、響きのある歌声で歌う。 ・自らの門出を祝い、友と歌う最後の合唱に思いを込め、高らかに歌い上げる。【活動観察、演奏聴取】

【学習の目標】 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

③ 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【授業中のポイント】

- ・授業で使うものの準備をする。(→忘れると何もできない。限られた時間を大切に。)
- ・集中して制作に取り組む。(→より良い発想・作品につながる、ケガや失敗が少なくなるなど、メリットが沢山あります。)
- ・発想する際も制作する際も、手をできるだけ止めない。(→思わぬアイデアに繋がったり、上手く作れたりすることにつながる。)
- ・制作途中でも、授業終わりなどに周りの生徒の作品を見合い、お互い良い刺激をもらう。(→高め合おう！)

【家庭学習のポイント】

- ・常にアンテナを張ることを心がけましょう。自分は何が好きなのか、それはどうしてなのか。何かをキレイだな、いいな、と思った瞬間を覚えておいて、後でそれを分析する。そんなことの積み重ねが、美術で作品を制作する際にとても大切になってきます。

【成績の付き方】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう人間性
評価するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・人物クロッキー ・作品の完成度 ・材料用具を巧みに扱った結果の作品の美しさ ・色・形・素材等の特性を理解している選択か ・・・等 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・明確な作品の主題(テーマ性) ・豊かな発想、テーマを工夫して表現しているか ・DVD鑑賞カード ・・・等 	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く最後まであきらめず制作しているか ・知識、技能、思考力、判断力、表現力を巧みに使った結果が提出物全てに表れているか ・提出期限を守れない人、授業に本気で取り組まない人等は減点します

【1年の制作のおおまかな流れ、補足】

1 学期・・・オリエンテーション、This is Me!! (立体作品)

2 学期・・・私にとって美術とは (平面デザイン)、スクラッチボード (工芸)

3 学期・・・卒業記念カード (紙工作)

※1年を通して、授業の最初の5分間でクロッキー会を行います。

※学期の終わりや制作の途中に、学びに関連したDVDの鑑賞を行います。

※持ち物、授業の受け方、評価の付け方の詳細は、授業中に説明します。

【学校教育目標】

- (1) 真理を求め、進んで学習する生徒
- (2) 自ら考え、責任を持って行動する生徒
- (3) 心身ともにたくましい生徒

【保健体育科の目標】

- ・運動に親しみ、自主的・自発的に学習に取り組む生徒の育成。
- ・自他の健康や安全に留意して、健康の増進と体力の向上に努める生徒の育成。
- ・発達段階に応じた技能を習得し、運動の特性や楽しさを味わうことのできる生徒の育成。

【授業】

体育・・・規律を確立させ、自主的、主体的に学ぶ。得意不得意に関わらず、自ら課題を見つけ、その解決にむけて個々のスキルアップを目指す。その中で、仲間との関わりあいを大切にすることでコミュニケーションを学んだり、声を出して体を動かすことで、前向きな気持ちや立ち振る舞いなどを質の高いものにする。また、科学的側面からも運動をとらえ、生涯にわたってなんらかの形でスポーツに親しむ姿勢を育てる。

保健・・・人間の体、健康や環境などについて発達段階に応じた学習をする。調べ学習を増やし、探究的に知識を深めていく。また、明るく豊かな生活を送るための態度が身に着くようにする。

【学習内容】

1 学期	2 学期	3 学期
<p>■体育に関する知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝霞三中の体育について <p>◆体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動、整理運動、補強運動 ・自校体操 ・新体力テスト <p>◆陸上 I (器械と領域選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走、リレー 　　<体育大会に向けて> ・ハードル、走り幅跳び、走り幅跳び <p>◆器械運動 (陸上と領域選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱運動 ・マット運動 <p>◆水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水についての理解 ・平泳ぎ、その他 <p>■保健</p> <p>健康な生活と疾病の予防</p>	<p>◆球技 I (選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール <p>◆陸上 II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 <p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染の予防 <p>◆武道、ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●武道 ・柔道 ●ダンス ・創作ダンス 	<p>■保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康を守る社会の取組 <p>◆球技 II (入れ替え)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・バスケットボール <p>◆球技 III</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・サッカー

【評価について】

各単元の評価規準に準じて、①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点について評価を出す。各単元の評価を総合的に見て学期ごとの評価を出し、それをもとに評定を出す。

学校教育目標

- ・ 真理を求め進んで学ぶ生徒
- ・ 豊かな心を持ち、理性的な言動をとる生徒
- ・ 心身をきたえる生徒

技術・家庭科の目標	技術分野	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
	家庭分野	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

生徒に頑張ってもらいたいこと

- ①身近な生活から課題を発見し、自ら解決できるように創意工夫してみよう。
- ②生活の自立に必要な基礎的・基本的な事項を確実に身につけ、活用できるようにしよう。

学習内容 (3 学年)

	技術 分 野	家 庭 分 野
1 学 期	D 情報の技術 1 デジタル作品の設計と制作 <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル作品の構想 ・ 情報の収集と加工 ・ 作品の製作と発表 	A 家族・家庭と子どもの成長 1 自分の成長と家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 <ul style="list-style-type: none"> ① 幼児期ってどんな時代？ ② 幼児の体の発達 ③ 幼児の心の発達 ④ 発達にとってのおとなの役割
2 学 期	2 プログラムによる計測・制御 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中にある計測・制御 ・ 計測制御システム ・ 処理の手順とプログラム ・ プログラムによる模型の制御 ・ 社会や環境とのかかわり ・ 情報社会を生きるために 	⑥ 幼児の遊びを支える環境 ⑦ 幼児の遊びを支える * 幼児のおもちゃ作り
3 学 期	3 情報に関する技術とわたしたち <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会や環境とのかかわり ・ 情報社会を生きるために 	3 家庭生活と地域のかかわり <ul style="list-style-type: none"> ① 多様な人々が暮らす地域 ② 地域に暮らす高齢者とかかわり 4 これからのわたしと家族 <ul style="list-style-type: none"> ① 中学生と家族とかかわり ② これからのわたしと家族との関係